

ごあいさつ

十年、二十年、三十年後の世界ではどのような茶道が行われているのか、街には近未来風の意匠が数多く浸透していることでしょう。

茶道具にも多くの新しい試みが生まれ、淘汰が繰り返されているはず。時代に即した柔軟さは、これまで以上の水準で作り手に求められていくように感じます。

日本の伝統文化は、先人を敬い、想いを受け継ぎ、それを四季折々楽しむ心を大切にしてきました。その文化の芯は、時間を越え、国境を越えても変わらないと思います。

引き継ぎつつ新たに生み出すこと、その絶妙な平衡感覚を七人で切磋琢磨していく、それが挑交会です。

ごあいさつ

このたび、小野美術におきましては、陶芸・金工・指物・漆芸の各分野で茶道具制作に勤しんでおられる次代の作り手七名による展覧会を開催いたします。

時に協力し、時に競い合い、それぞれの技術を研鑽していく中で、京都らしいこだわりの作品が生まれて参りました。現在進行形でございますが、ぜひ、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成二十九年五月吉日

(有)小野美術

代表取締役 小野誠一



榎垣良多作 黒茶碗



宮川鉄司作 彩飾砂描砧花入



兵働知也作 竹形神代櫛茶杓



西村徳哉作 色絵花菱文茶碗



角谷和彦作 南鐘六瓢蓋置



岩木秀樹作 玉垣古材楓香合



岩瀬裕二作 真塗中棗

お支払い方法
檜れの美術工芸品のお求めには
手帳で便利な分割払い

アートローン

- ◆10回払いまで手数料サービス
- ◆60回払いまで承ります

有限会社 小野美術

いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F TEL&FAX 0246-35-0383
info@onobijutsu.jp http://onobijutsu.jp

挑交会展

Kidzchi Iwaki
Yuji Iwabuchi
Kazuhiko Kakutani
Tokuya Nishimura
Tetsuji Miyagawa
Ryouta Higuchi
Tomoya Iyodo

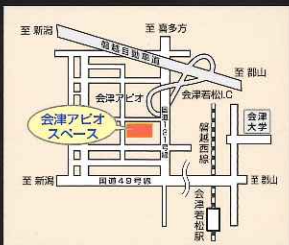
会期 ■平成29年5月18日(木)〜5月22日(月)

午前10時〜午後6時(最終日は午後5時閉場)

会場 ■会津アピオスペース1階大会議室

会津若松インター西90番地

TEL・0242(37)2801



指物師 岩木 秀樹

略歴
 昭和四十九年 裕軒四代岩木秀斎 長男として出生
 平成九年 同志社大学卒業
 平成十三年 京都伝統工芸専門学校卒業
 同年 祖父裕軒三代秀斎、父裕軒四代秀斎に師事
 現在 百十会会員
 麗捧会会員



桐神代杉四方棚



挑交会展



浜松地紋 真形釜

釜師 角谷 和彦

略歴
 昭和四十年 三代與齋の長男として出生
 昭和六十三年 関西大学 工学部卒
 同年 父與齋に師事
 現在 百十会会員 互報会会員



紫陽花絵茶碗

陶工 宮川 鉄司

略歴
 昭和四十二年 龍谷窯二代宮川香雲 長男として出生
 昭和六十年 京都私立東山高校卒
 昭和六十二年 京都市立工業試験場終了
 昭和六十二年 京都府立職業訓練校終了
 同年 中里重利師に師事
 平成元年 父香雲に師事



香狭間透ミルクペイント苺盆

指物師 兵働 知也

略歴
 昭和四十九年 京都生まれ
 平成十三年 福知山高等技術専門学校(家具工芸科)卒業後、高坂入社
 茶道指物の技術を学ぶ
 平成二十三年 京北町にて工房を構える



陶工 西村 徳哉

略歴
 昭和四十四年 四代西村徳泉の長男として出生
 平成三年 福井工業大学 工学部 卒業
 平成五年 京都府立陶工高等技術専門学校 修了
 平成七年 京都市工業試験場 修了
 平成九年 第四十九回京展 初入選
 平成十一年 京もの工芸品技術後継者 認定



陶工 檜垣 良多

略歴
 昭和五十一年 檜垣青子の長男・奇神崇白(初代)の曾孫として生まれる
 平成九年 青子・崇白(二代)のもと三年間陶技を学ぶ
 平成十二年 京都府立陶工訓練校成形科修了
 平成十三年 京都市立工業試験場窯業科終了
 平成十四年 青子・崇白のもと二年間陶技を学ぶ
 平成二十年 裏千家学園卒業
 平成二十一年 青子と共に日本橋三越にて個展
 平成二十二年 京都府イタリア派遣事業に選出(フィレンツェにて製作)
 平成二十四年 京都市京もの認定工芸士認定
 各地にて個展を開催
 現在 檜垣青子・奇神崇白とともに桂窯にて作陶に励む



赤茶碗



塗師 岩淵 祐二

木目沈金建水



略歴
 昭和四十八年 福島県生まれ
 平成四年 立命館大学入学
 平成六年 京塗 三代表判 鈴木雅也氏に入門
 平成十三年 日展入選
 平成十四年 独立